

女性の起業への関心

～「2022年度起業と起業意識に関する調査」特別集計結果から～

I	調査の目的と実施要領	1
II	調査結果	
1	家庭の環境	4
2	学歴・勤務経験	10
3	起業への関心	12
4	満足度	16
III	まとめ	18

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所

小企業研究第一グループ

TEL 03-3270-1687

担当 桑本、青木

I 調査の目的と実施要領

1 調査目的

わが国で起業活動が低迷する理由の一つとして、起業への関心が低いことが挙げられている。日本政策金融公庫総合研究所が2013年度より実施しているインターネットアンケート「起業と起業意識に関する調査」によれば、特に女性は起業への関心が低い。そこで特別集計を実施し、起業家（事業に充てる時間が週35時間以上）、パートタイム起業家（同35時間未満）、起業関心層、起業無関心層それぞれの属性や起業関心層に対する質問の回答結果を男女間で比較し、女性の起業を促進するためのヒントを探る。

2 実施要領

- (1) 調査時点 2022年11月
- (2) 調査対象 全国の18歳から69歳までの人
- (3) 調査方法 インターネットによるアンケート（事前調査と詳細調査の2段階）
インターネット調査会社から登録モニターに電子メールで依頼し、ウェブサイト上の調査画面に回答者自身が回答を入力。
- ① 事前調査 … 本調査の調査対象に該当するかどうか等を判別するための簡易なアンケート
 - ② 詳細調査 … 調査対象の該当者（「起業家」「パートタイム起業家」「起業関心層」「起業無関心層」）に対して行う詳細なアンケート

(注) 1 2022年度調査では、起業年を「2018～2022年」「2017年以前」に区分し、このうち「2018～2022年」を「起業家」「パートタイム起業家」としている。なお、「起業家」は現在経営している事業に充てている時間が1週間当たり35時間以上である人、「パートタイム起業家」は同35時間未満である人と定義している。

2 事前調査で現在の職業を「事業経営者」と回答した人のほか、「事業経営者以外」と回答した人であっても、勤務収入や事業収入以外に、過去1年以内に年間20万円以上の収入があると回答した人を事業経営者とし、そのなかからも「起業家」と「パートタイム起業家」を抽出している。

- (4) 回収数
- ① 事前調査 3万1,554人（A群1万9,992人、B群1万1,562人）
 - ② 詳細調査 2,681人

(注) 1 事前調査（A群）の調査対象は、性別、年齢層（10歳さざみ）、居住する地域の割合がわが国の人口構成（2022年時点）に準拠するように、回収数を設定した。

2 事前調査（B群）は、「起業家」「パートタイム起業家」のサンプルサイズを確保するために、その出現率が高いと思われる属性をもつ人に対して行ったものである。

(5) ウェイトの設定（詳細調査のサンプル）

詳細調査における起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層の性別・年齢別構成比は、実際の人口構成を反映している事前調査（A群）と比べて偏りが生じている。そこで、詳細調査の集計に当たっては、事前調査（A群）の性別・年齢別構成比に近似させるために、19ページに記載のとおりウェイト値を設定した。以下では、ウェイト値による重みづけを行った集計を示している。ただし、図表中のn値（回答数）は原数値を示した。

3 調査対象の選別方法

事前調査（A群）による類型化

							回収数 (件)	構成比 (%)																																		
全国の18歳から69歳までの男女	事業経営者	自し たが 事業 か 起 業 か	自分が起業した事業である	起 業 年	2018～2022年	事業に充て る時間	35時間以上/週	95	0.5	→	起業家	<類型別の構成比> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回収数 (件)</th> <th>構成比 (%)</th> <th>構成比 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起業家</td> <td>164</td> <td>0.8</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>パートタイム起業家</td> <td>1,001</td> <td>5.0</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>起業関心層</td> <td>2,356</td> <td>11.8</td> <td>15.2</td> </tr> <tr> <td>起業無関心層</td> <td>11,984</td> <td>59.9</td> <td>77.3</td> </tr> <tr> <td>その他 (対象外)</td> <td>4,487</td> <td>22.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,992</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				回収数 (件)	構成比 (%)	構成比 (%)	起業家	164	0.8	1.1	パートタイム起業家	1,001	5.0	6.5	起業関心層	2,356	11.8	15.2	起業無関心層	11,984	59.9	77.3	その他 (対象外)	4,487	22.4		合計	19,992	100.0	100.0
								回収数 (件)	構成比 (%)						構成比 (%)																											
		起業家	164	0.8	1.1																																					
		パートタイム起業家	1,001	5.0	6.5																																					
	起業関心層	2,356	11.8	15.2																																						
	起業無関心層	11,984	59.9	77.3																																						
	その他 (対象外)	4,487	22.4																																							
	合計	19,992	100.0	100.0																																						
	35時間未満/週	103	0.5	→	パートタイム起業家																																					
	2017年以前		778			3.9	⇨	調査対象外																																		
自分が起業した事業ではない		345	1.7	⇨	調査対象外																																					
現在の職業 それ以外	勤務 収入 の有 無 以外 の 収入	あり 事業 経営者	起 業 年	2018～2022年	事業に充て る時間	35時間以上/週	69	0.3	→	起業家																																
						35時間未満/週	898	4.5			→	パートタイム起業家																														
						2017年以前		924					4.6	⇨	調査対象外																											
	なし	起 業 関 心 の 有 無	起業に関心あり	2,356	11.8	→	起業関心層																																			
			以前も今も起業に関心なし	11,984	59.9			→	起業無関心層																																	
			以前は起業に関心があった（新型コロナウイルス感染症の事業者への影響をみて関心がなくなった）	674	3.4					⇨	調査対象外																															
以前は起業に関心があった（上記以外の理由で関心がなくなった）	1,766	8.8	⇨	調査対象外																																						
合 計							19,992	100.0																																		

資料：日本政策金融公庫総合研究所「2022年度起業と起業意識に関する調査」（以下同じ）

- (注) 1 「勤務収入以外の収入がある」とは、過去1年間に年間20万円以上の収入（年金や仕送りからの収入、不動産賃貸による収入、太陽光発電による収入、金融や不動産などの投資収入、自身が使用していた既製品の販売による収入は除く）があり、今後も継続してその収入を得ていく場合のことをいう。
- 2 以下では「勤務収入以外の収入がある」と回答した人を「意識せざる起業家」として起業家・パートタイム起業家に分類し、「勤務収入以外の収入」は「事業収入」として集計する。
- 3 構成比は四捨五入して表示していることから、合計しても100%にならない場合がある（以下同じ）。

4 調査対象の分布（事前調査A群）

(1) 性別類型分布

	起業家 パートタイム起業家 その他の経営者	起業関心層 以前は起業に関心があったが今はない	起業無関心層
女性 (n=9,969)	4.4 0.4	5.7 9.9	10.5 69.1
男性 (n=10,023)	5.6 1.2	14.7	13.7 13.9 50.8

(2) 性別・類型別年齢（調査時点）

（単位：％）

		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
<起業家>						
女性 (n= 40)		37.5	22.5	22.5	10.0	7.5
男性 (n= 124)		34.7	19.4	21.8	14.5	9.7
<パートタイム起業家>						
女性 (n= 439)		34.2	23.9	23.7	11.8	6.4
男性 (n= 562)		32.0	24.6	19.9	13.0	10.5
<起業関心層>						
女性 (n= 982)		25.9	24.4	26.8	16.5	6.4
男性 (n=1,374)		28.1	21.9	23.9	16.8	9.2
<起業無関心層>						
女性 (n=6,888)		16.3	16.7	22.6	21.9	22.5
男性 (n=5,096)		16.8	18.0	23.9	21.1	20.2

※起業家、パートタイム起業家全体の特徴については、2023年1月12日プレスリリース「2022年度起業と起業意識に関する調査」アンケート結果の概要を参照されたい（https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/kigyoushiki_230112_1.pdf）。



II 調査結果

1 家庭の環境

～女性のうち主たる家計維持者の割合は、起業家で高く起業無関心層で低い～

- 主たる家計維持者である割合は、起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層のいずれにおいても、男性の方が高い（図-1）。女性のうち、主たる家計維持者の割合が最も高いのは起業家（45.0%）、最も低いのは起業無関心層（30.3%）である。
- 配偶者がいる割合は、男女ともに起業無関心層、起業関心層、パートタイム起業家、起業家の順に高い（図-2）。女性の場合は、起業無関心層（62.1%）が起業家（42.5%）を約20ポイント上回り、その差は男性の場合の倍近い。

図-1 主たる家計維持者であるか

（単位：％）

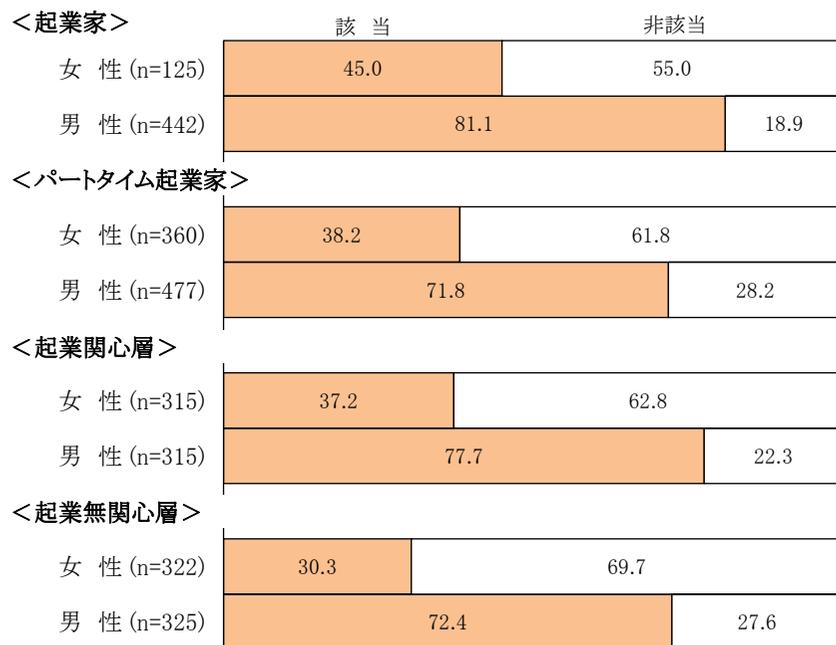
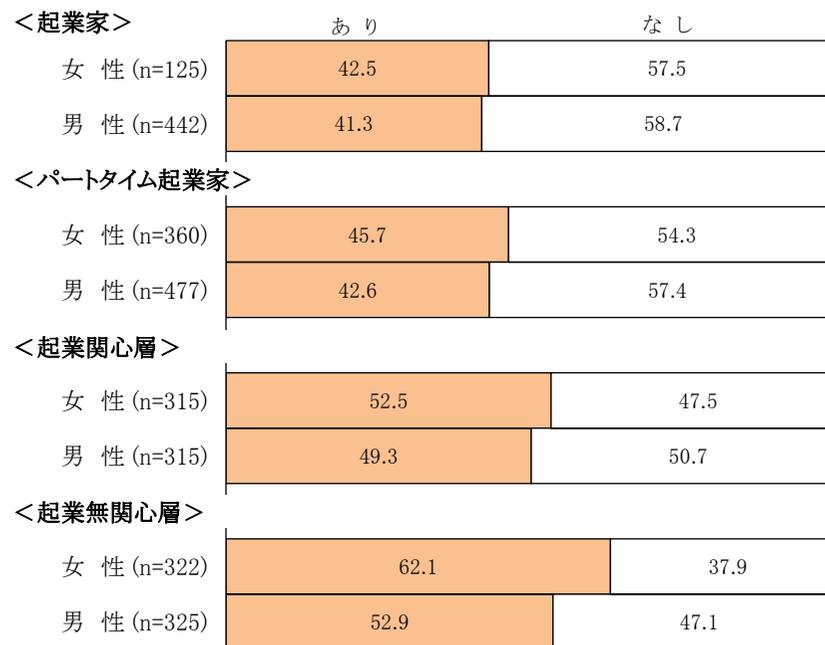


図-2 配偶者の有無

（単位：％）

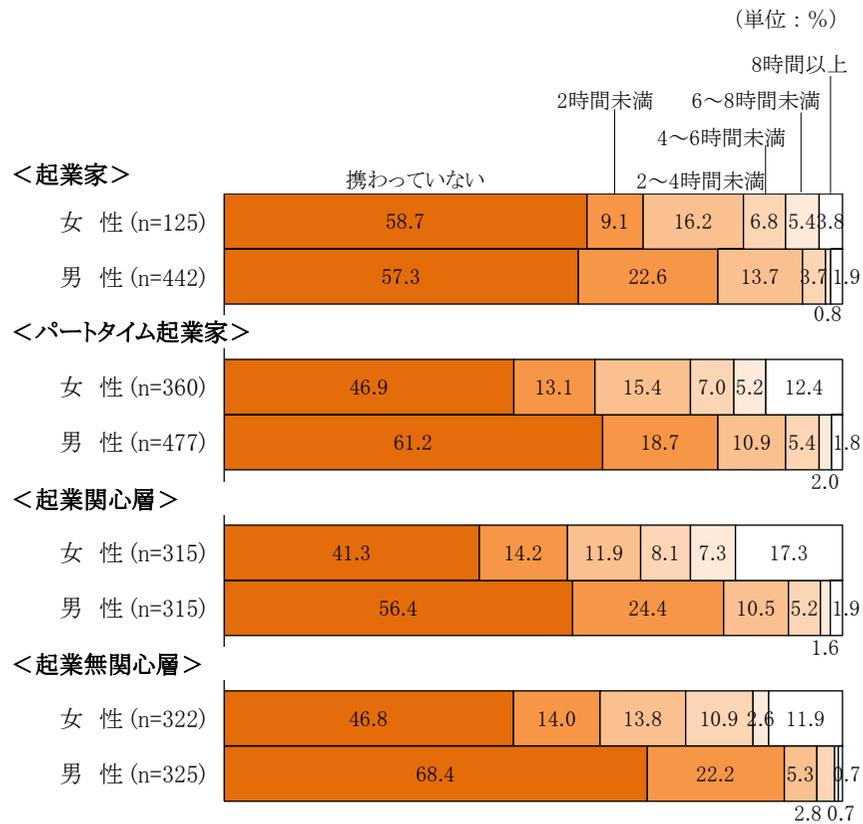


（注）詳細調査の結果（以下、断りのない限り同じ）。

～女性のうち家事に充てる時間が「8時間以上」である割合は、起業関心層で最も高い～

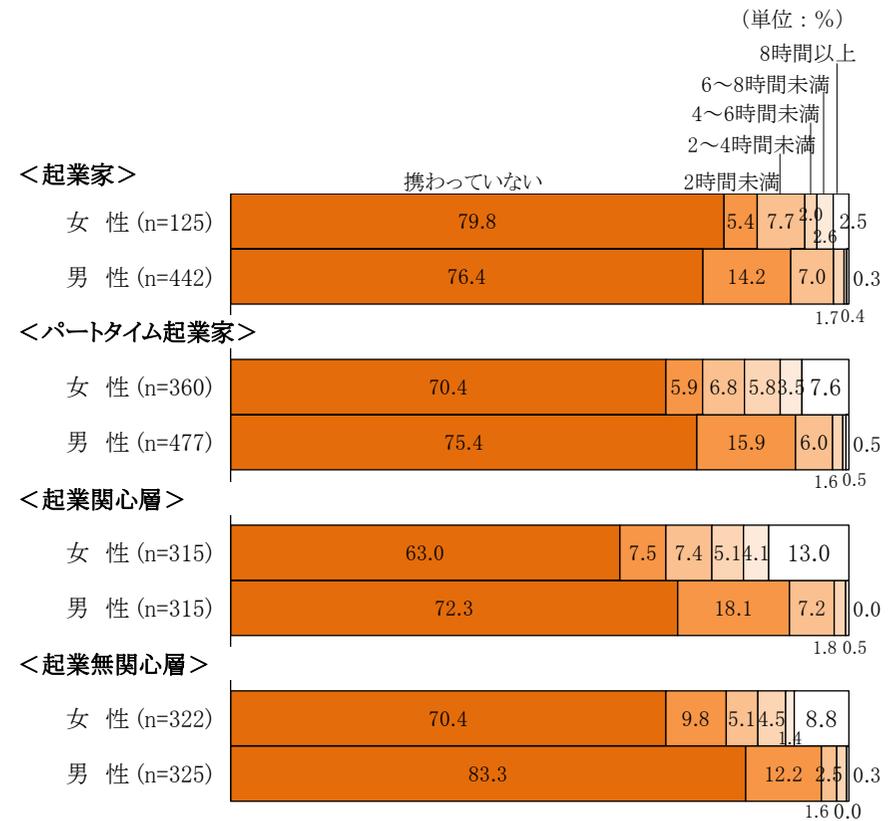
- 家事に充てる時間をみると、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層では男性の方が「携わっていない」との回答割合が高い（図-3）。起業家は、男女ともに「携わっていない」割合が約6割と同程度である。「8時間以上」の割合は、女性の起業関心層（17.3%）で最も高い。
- 育児に「携わっていない」割合は、起業家では女性（79.8%）が男性（76.4%）を上回るが、その他の類型では女性の方が男性より低くなっている（図-4）。

図-3 家事に充てる時間（1日当たり）



(注) 報酬を目的としたものを除く (図-4も同じ)。

図-4 育児に充てる時間（1日当たり）



(注) 孫など、自身の子ども以外も含む。

～女性のうち未就学児の子どもがいる割合は、起業関心層で最も高い～

- 未就学児の子どもがいる割合は、パートタイム起業家（17.2%）、起業関心層（19.5%）、起業無関心層（11.3%）では女性の方が高い（図-5）。一方、起業家では男性（14.9%）より女性（12.9%）の方が割合が低くなっている。
- 起業関心層、無関心層の現在の職業は、「勤務者（正社員）」の割合が男性（順に66.4%、65.1%）で特に高く、女性（同30.2%、24.7%）はそれぞれ男性の半分以下の水準にとどまる（図-6）。一方、「主婦・主夫」の割合は、女性の起業関心層が21.7%、起業無関心層が34.3%と、男性（順に0.5%、0.7%）を大きく上回る。

図-5 子どもがいる割合

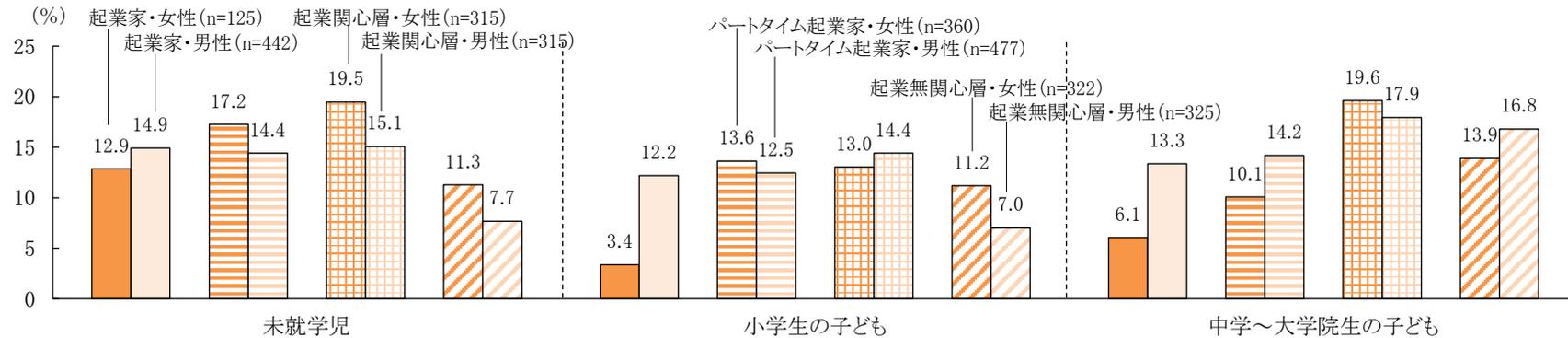
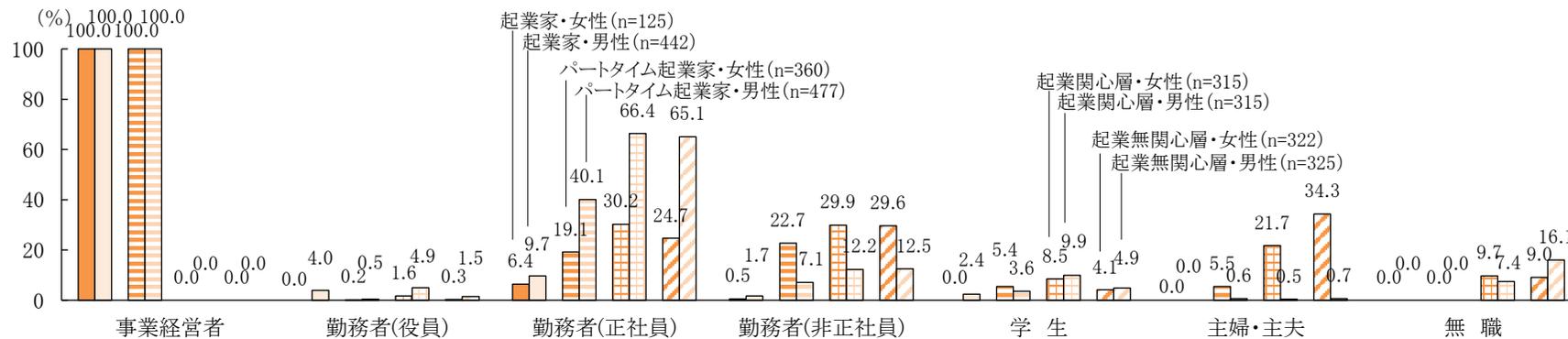


図-6 現在の職業（複数回答）

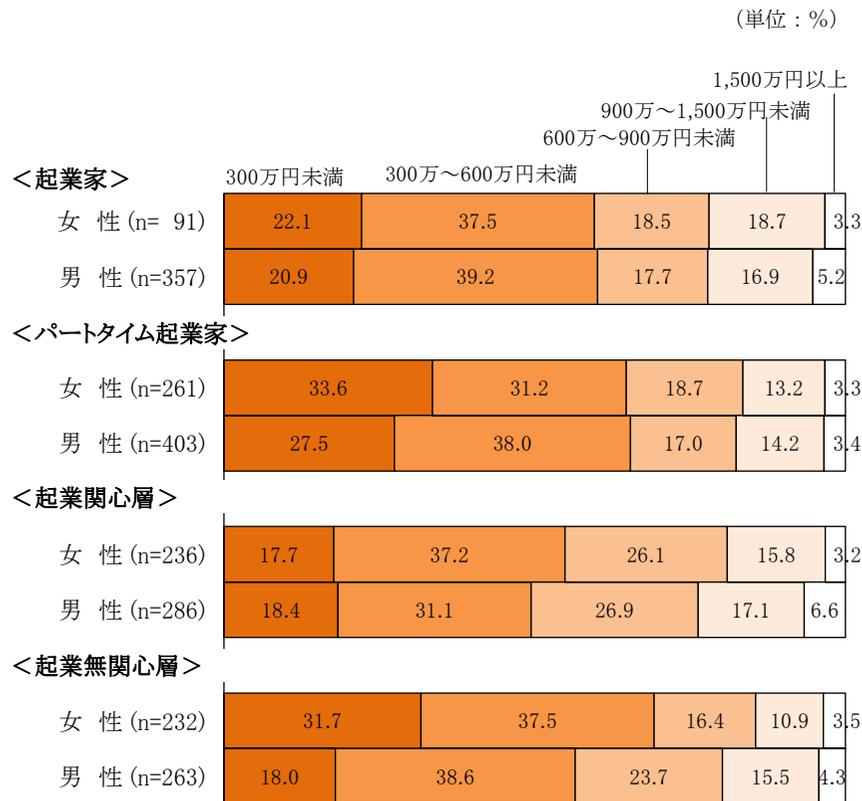


(注) 分類上、事業経営者の割合は、起業家およびパートタイム起業家では100%、起業関心層および起業無関心層では0%となる。

～女性の起業関心層、起業無関心層の約半数は、世帯収入のうち最も大きい収入が「配偶者の収入」～

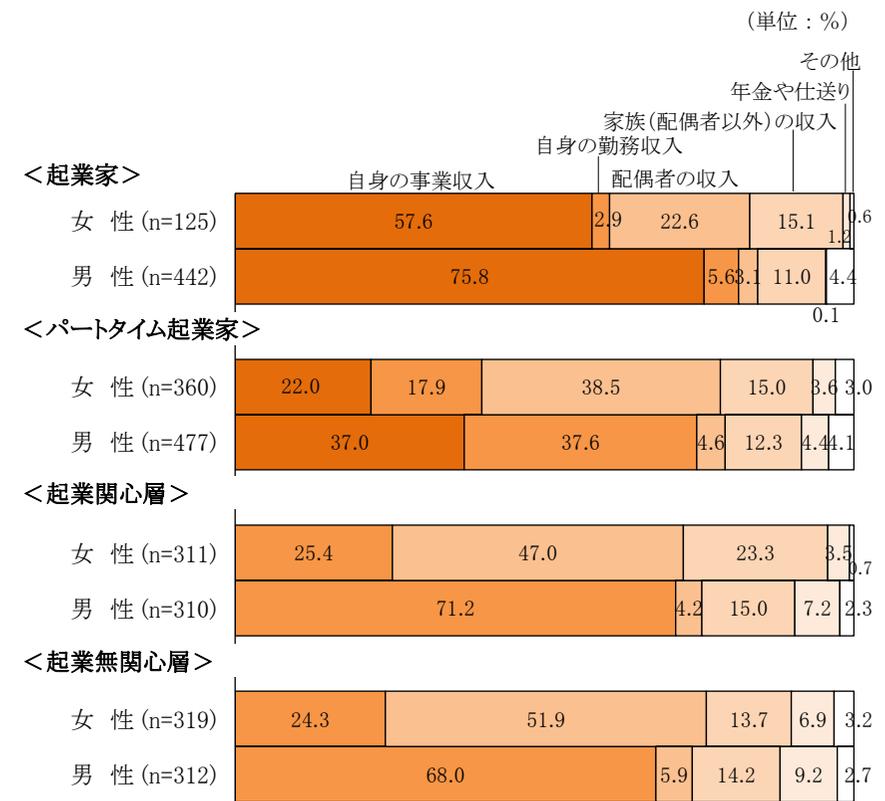
- 女性の世帯年収は、パートタイム起業家と起業無関心層で「300万円未満」の割合が3割を超える（図-7）。起業家を除く3類型で、男性より収入が少ない傾向となっている。
- 世帯収入のうち最も大きな収入は何かを尋ねると、起業家では「自身の事業収入」が男女ともに最も多くを占めるが、割合は女性（57.6%）が男性（75.8%）を20ポイント近く下回る（図-8）。起業関心層と起業無関心層は、男性では「自身の勤務収入」の割合（順に71.2%、68.0%）が最も高く、女性では「配偶者の収入」（同47.0%、51.9%）が最も高い。

図-7 世帯年収



(注) 「わからない」「答えたくない」と回答した人を除く。

図-8 世帯収入のうち最も大きな収入



(注) 「その他」は「不動産賃貸による収入」「太陽光発電による収入」「金融や不動産などの投資収入」を含む。

～自身の勤務収入で世帯収入をすべて賅っている起業関心層、起業無関心層の女性は約3割～

- 女性のうち自身の勤務収入が世帯収入に占める割合が「100%（ほかの収入はない）」という回答割合は、起業関心層では31.1%と男性（30.0%）と同程度だが、起業無関心層では女性（32.5%）が男性（39.4%）を下回る（図-9）。起業関心層、無関心層ともに、女性の方が世帯収入に占める自身の収入の割合が低い層が多い傾向がみられる。
- 女性のうち新型コロナウイルス感染症流行の影響で世帯収入が「大きく減った」「やや減った」と回答した人の割合は、起業家とパートタイム起業家で高い（図-10）。

図-9 自身の事業収入または勤務収入が世帯収入に占める割合

(単位：%)

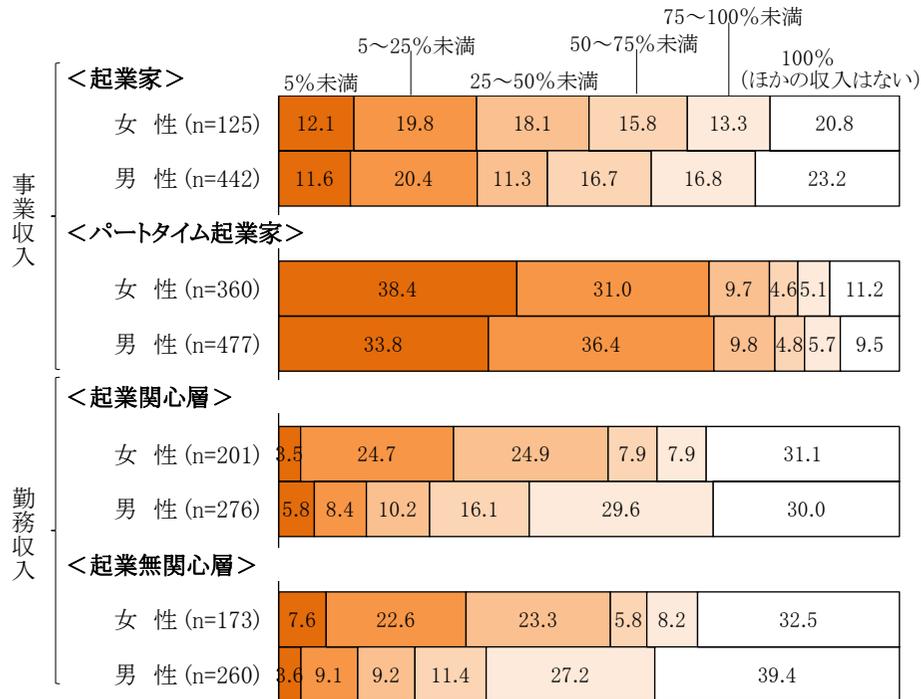
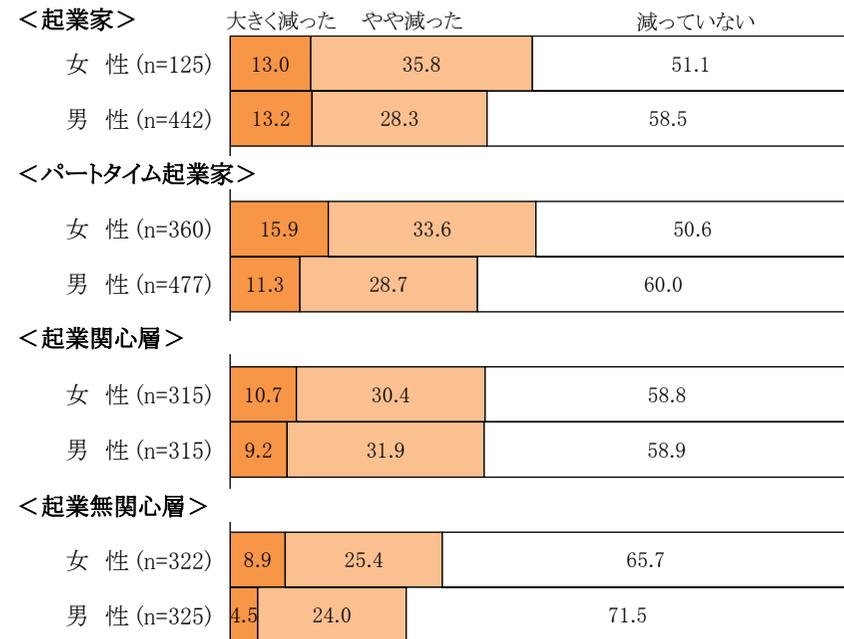


図-10 新型コロナウイルス感染症流行で世帯収入は減ったか

(単位：%)



(注) 起業関心層と起業無関心層は、図-6で現在の職業が勤務者と答えた人に尋ねた。

～起業関心層は、身近に起業家が「いる」割合が起業家より低く、起業無関心層より高い～

- 両親や祖父母など身近に起業家が「いる」割合は、男女とも起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層の順に高く、特に女性の起業家は46.1%と男性の起業家（33.7%）よりかなり高い（図-11）。
- 両親や祖父母など身近な起業家のうち、事業に失敗した人が「いる」割合は、起業家では女性（21.8%）が男性（37.6%）を15ポイント以上下回っている（図-12）。男女ともに、起業無関心層は起業関心層より「いる」との回答割合が高くなっている。

図-11 両親・祖父母・兄弟姉妹・配偶者に起業家がいるか

(単位：%)

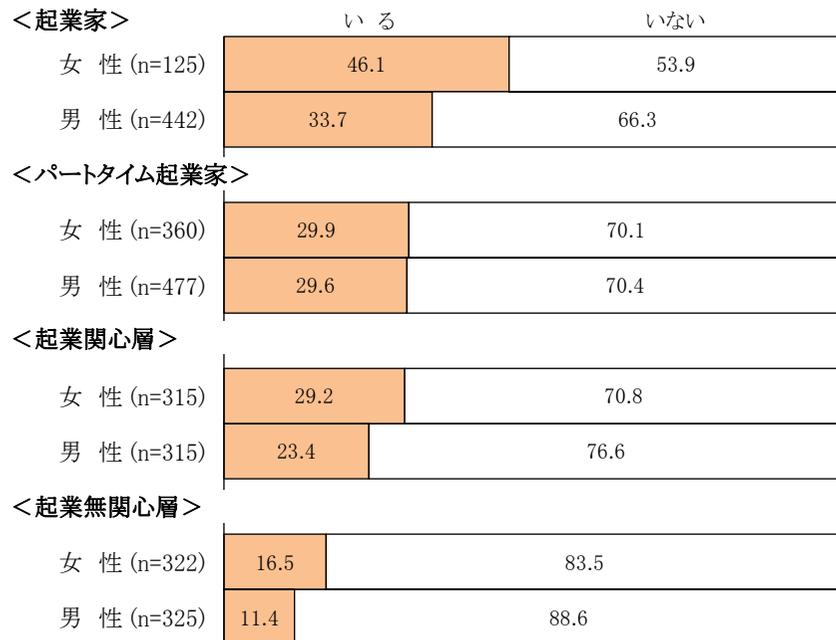
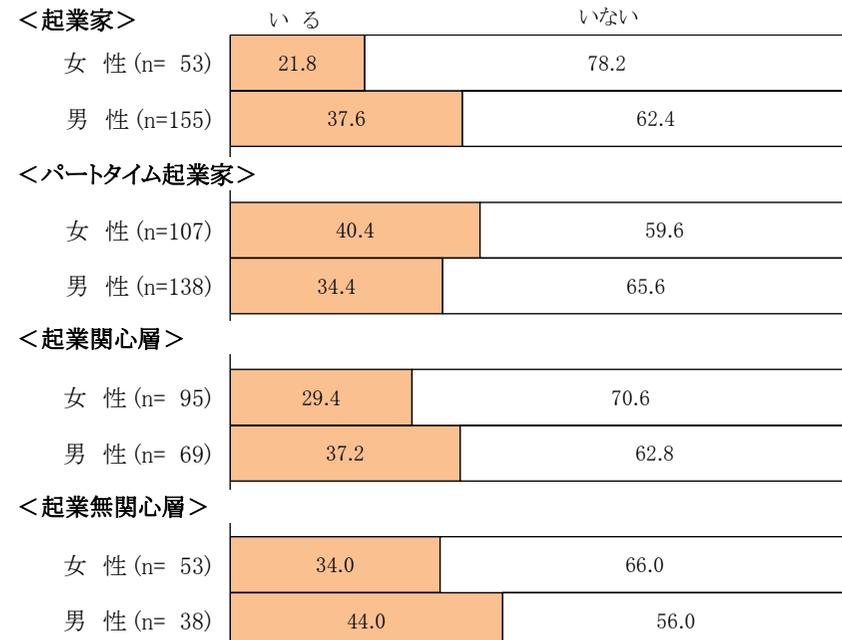


図-12 身近な起業家に事業に失敗した人がいるか

(単位：%)



(注) 図-11で「いる」と答えた人に尋ねたもの。

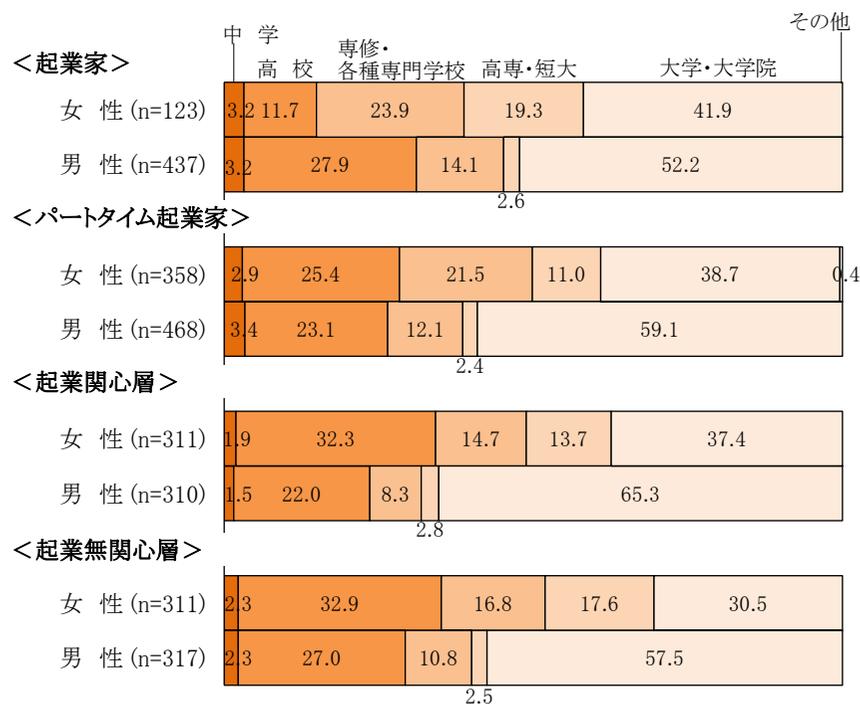
2 学歴・勤務経験

～女性が仕事で最も重視することは、起業家は「仕事のやりがい」、起業関心層、起業無関心層は「私生活との両立」～

- 最終学歴が「大学・大学院」である割合は、女性は起業家（41.9%）で最も高く、男性は起業関心層（65.3%）で最も高くなっている（図-13）。
- 仕事をするうえで最も重視することは、男性はいずれの類型においても「収入」の割合が最も高くなっている（図-14）。一方、女性は起業家では「仕事のやりがい」（38.3%）、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層では「私生活との両立」（順に47.5%、44.9%、50.0%）が最も高い。

図-13 最終学歴

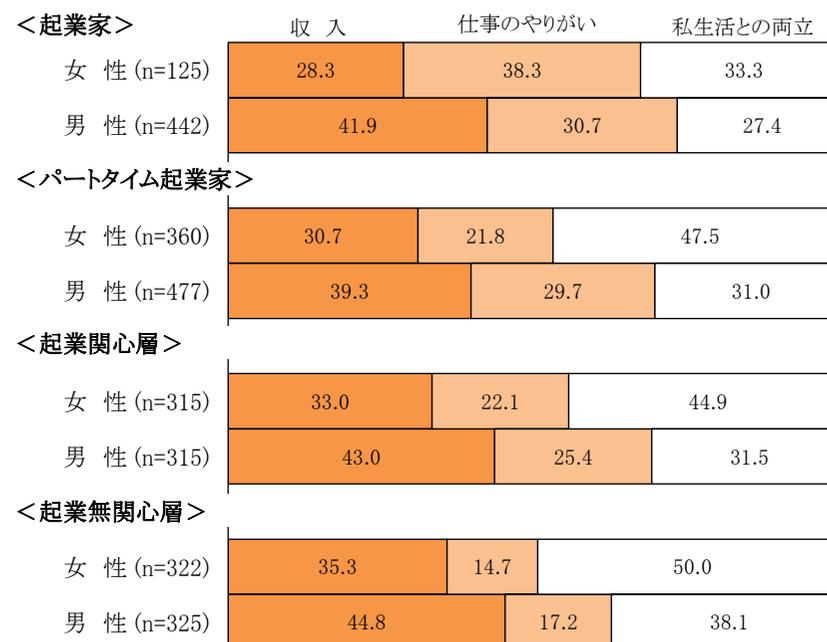
（単位：％）



（注）「答えたくない」と回答した人を除く。

図-14 仕事をするうえで最も重視すること

（単位：％）



（注）現在仕事をしていない人には、仕事をするとしたらどれを重視したいかを尋ねた。

～女性の起業無関心層は管理職経験が「ある」人が特に少ない～

- 正社員として勤務した経験が「ある」割合は、起業家は女性（70.2%）、男性（72.8%）ともに7割超となっている（図-15）。起業関心層では、女性（67.0%）が男性（77.8%）を10ポイント以上下回る。
- 管理職経験が「ある」との回答割合は、いずれの類型においても女性が男性を下回る（図-16）。女性は、高い方から起業家（17.8%）、パートタイム起業家（12.6%）、起業関心層（8.4%）、起業無関心層（5.2%）となっている。

図-15 正社員として勤務した経験があるか

(単位：%)

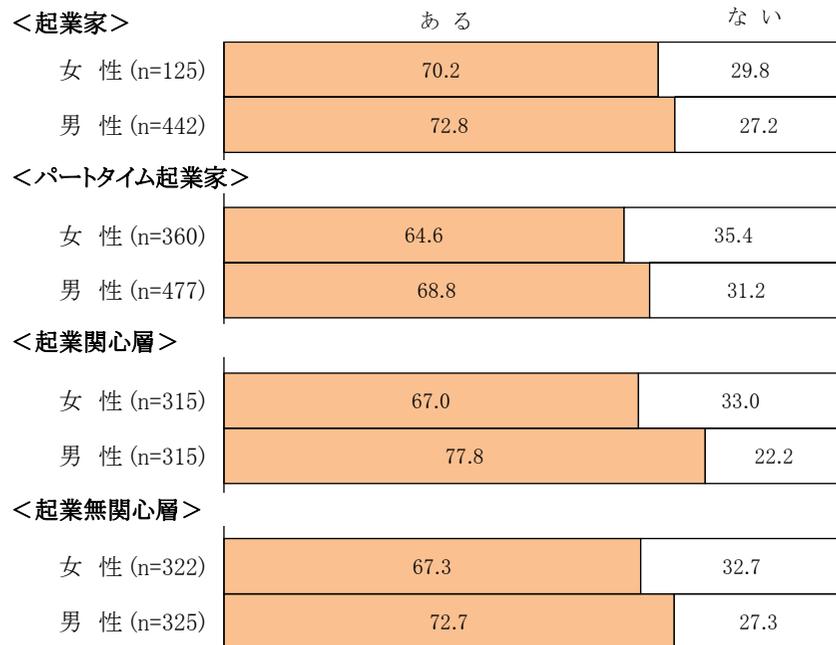
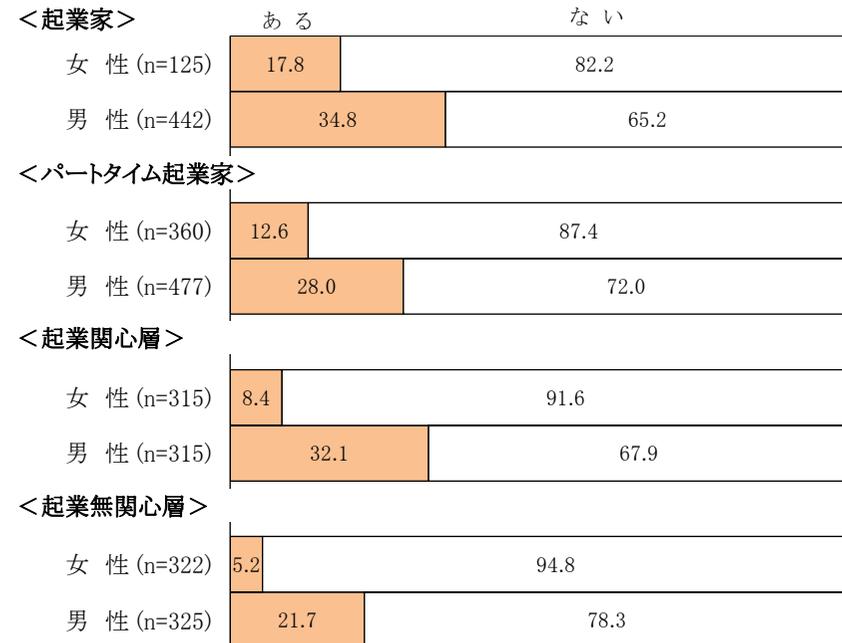


図-16 管理職経験はあるか

(単位：%)



(注) 起業家とパートタイム起業家は、起業前の経験について尋ねた（図-16も同じ）。

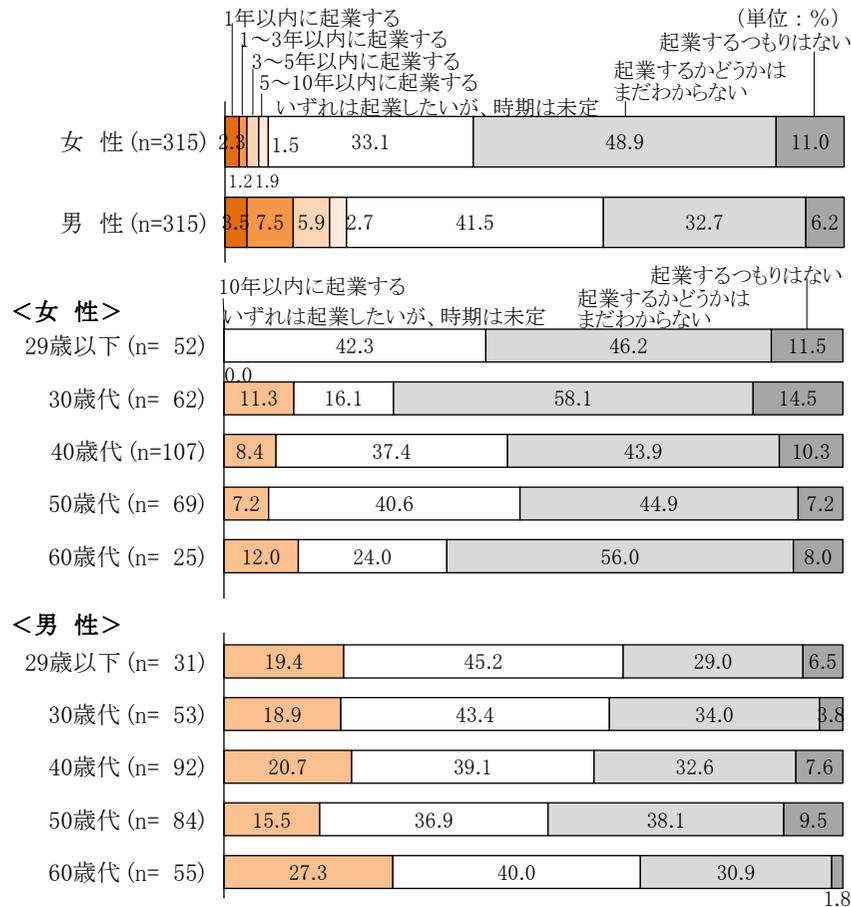
(注) 3人以上の部下をもつ課や部などの長またはリーダーを務めた経験。

3 起業への関心

～女性の起業関心層のうち「10年以内に起業する」予定である人の割合は、男性の半分以下～

- 起業関心層のうち「10年以内に起業する」予定である割合は、女性は7.0%と男性（19.6%）に比べて低い（図-17）。同割合を年齢別にみると、女性は30歳代（11.3%）と60歳代（12.0%）で相対的に高いが、いずれの年齢層においても男性の水準を下回る。
- 起業関心層のうちコロナ禍が起業に「関心をもつきっかけとなった」という人は、女性で13.2%、男性で16.8%である（図-18）。
- 起業への関心が「以前はあったが今はない」という人のうち、新型コロナウイルス感染症の事業者への影響をみたことがきっかけとなった人の割合は、女性が23.4%、男性が30.8%であった（図-19）。

図-17 起業予定時期（性別・年齢別）



(注) 起業関心層に尋ねたもの（図-18も同じ）。

図-18 コロナ禍が起業に関心をもつきっかけとなったか

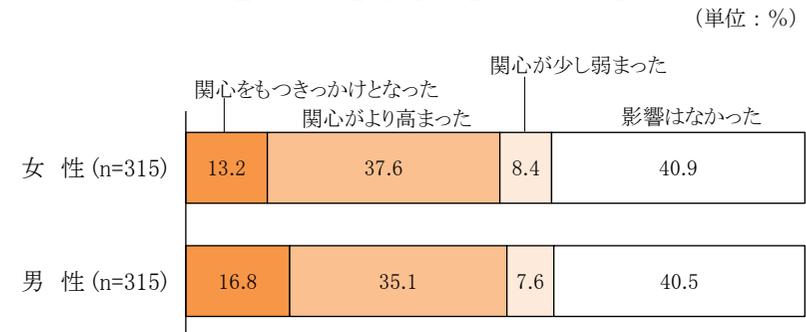
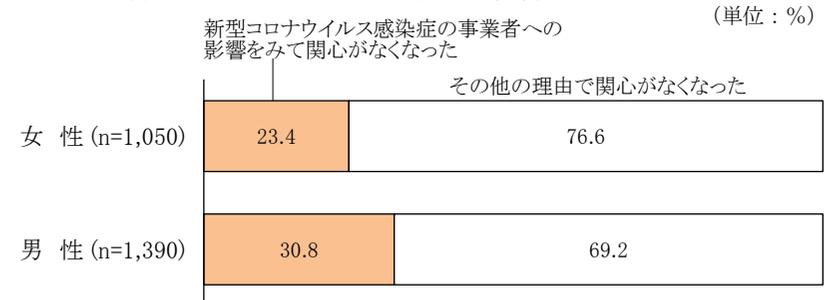


図-19 起業に以前は関心があったが、今はない理由（事前調査A群）
（新型コロナウイルス感染症の影響）

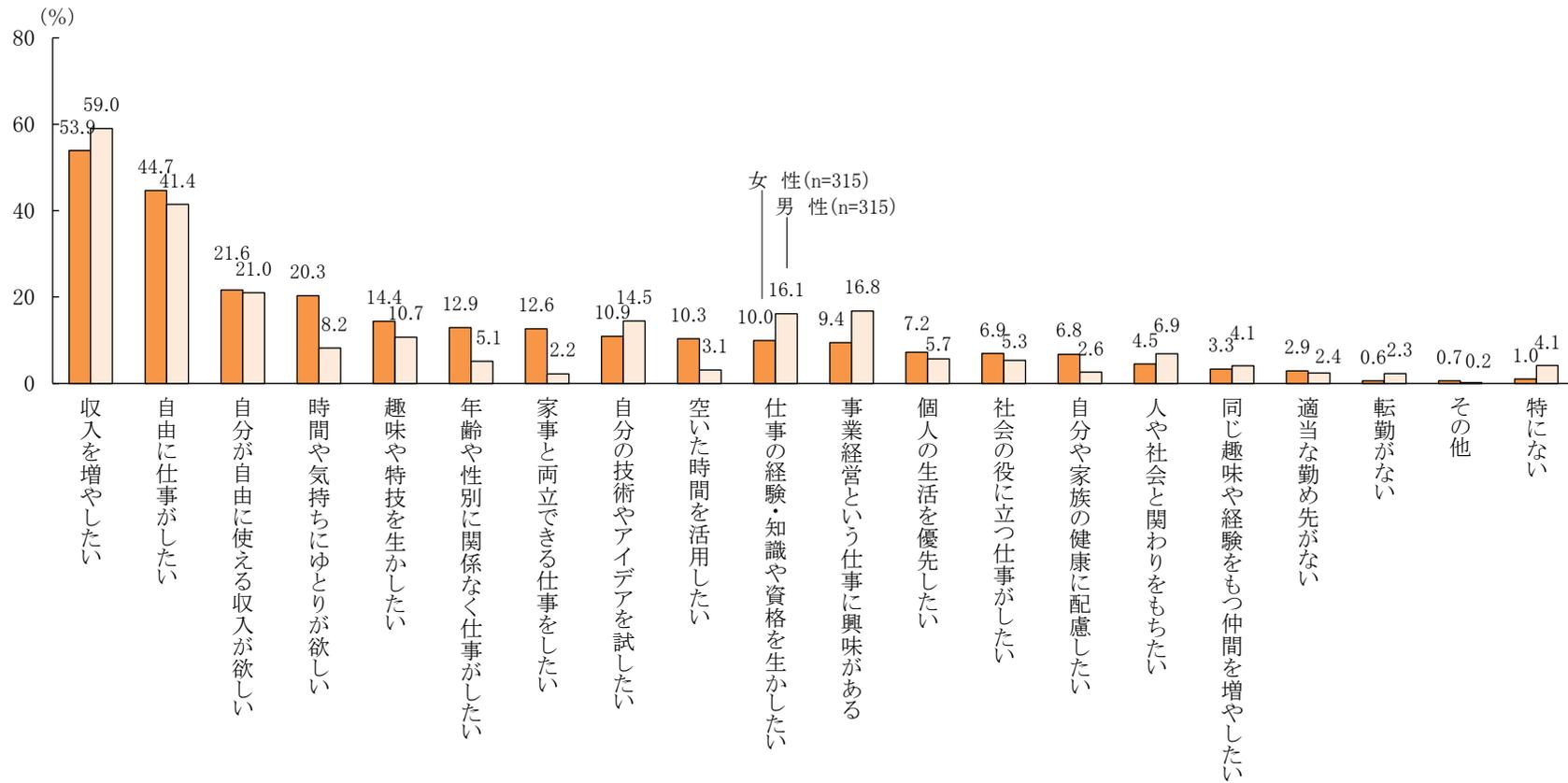


(注) 事前調査において、起業に「以前は関心があったが今はない」と答えた人に尋ねたもの。

～起業に関心をもった理由は、男女とも「収入を増やしたい」が最も多い～

○ 起業関心層が起業に関心をもった理由は、男女ともに「収入を増やしたい」（女性53.9%、男性59.0%）が最も多く、次いで「自由に仕事がしたい」（同44.7%、41.4%）、「自分が自由に使える収入が欲しい」（同21.6%、21.0%）が多い（図-20）。男性と比べると女性は「時間や気持ちにゆとりが欲しい」（同20.3%、8.2%）、「家事と両立できる仕事をしたい」（同12.6%、2.2%）、「年齢や性別に関係なく仕事がしたい」（同12.9%、5.1%）などの回答割合が高い一方で、「事業経営という仕事に興味がある」（同9.4%、16.8%）、「仕事の経験・知識や資格を生かしたい」（同10.0%、16.1%）などは低くなっている。

図-20 起業に関心をもった理由（三つまでの複数回答）

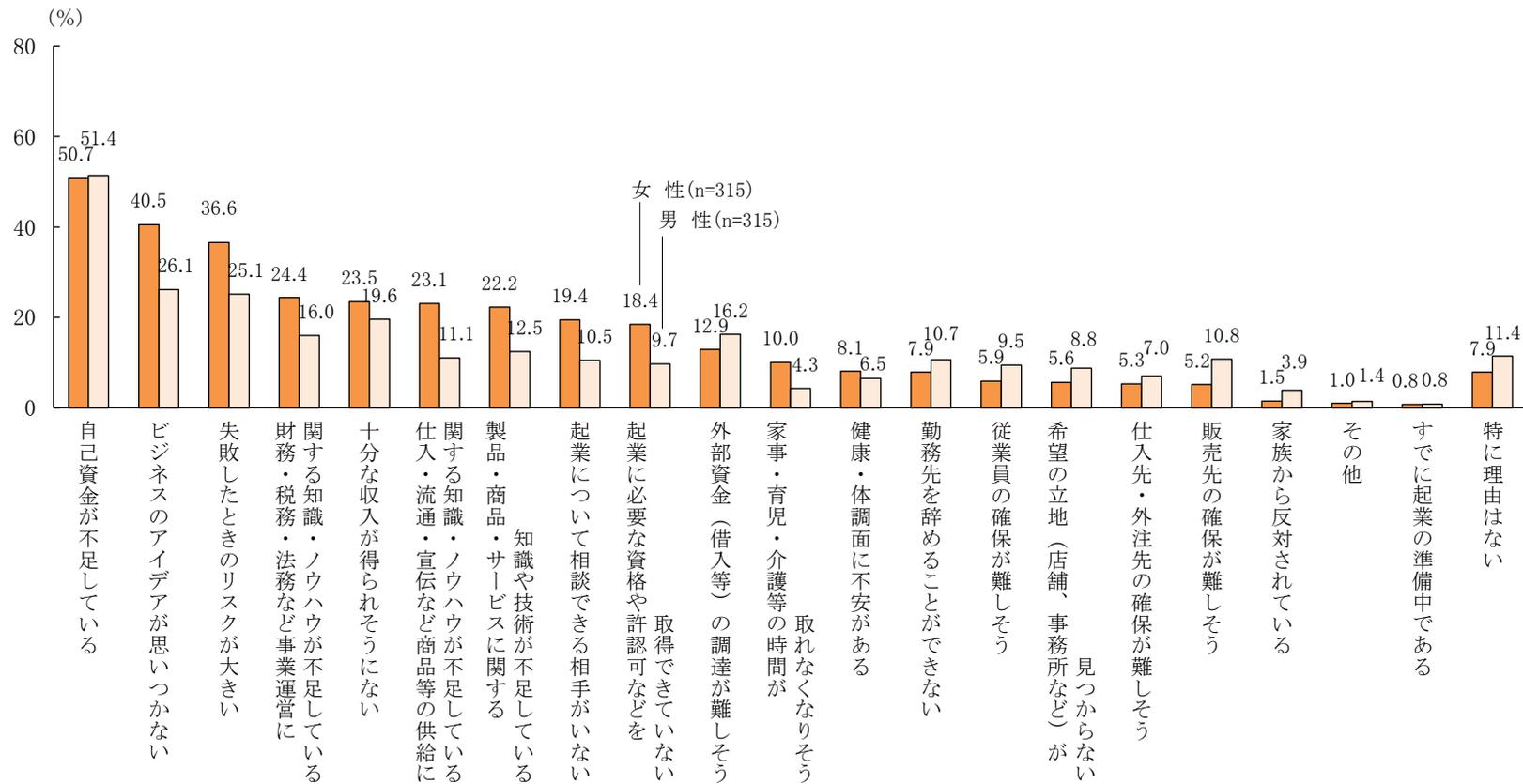


(注) 起業関心層に尋ねたもの（以下、図-23まで同じ）。

～男性に比べてビジネスのアイデアや知識に関する不安を挙げる女性が多い～

○ 起業関心層がまだ起業していない理由は、男女ともに「自己資金が不足している」（女性50.7%、男性51.4%）、「ビジネスのアイデアが思いつかない」（同40.5%、26.1%）、「失敗したときのリスクが大きい」（同36.6%、25.1%）が多い（図-21）。女性は「ビジネスのアイデアが思いつかない」のほか、「仕入・流通・宣伝など商品等の供給に関する知識・ノウハウが不足している」（同23.1%、11.1%）といったアイデアや知識に関する不安を挙げる人が、比較的多くなっている。

図-21 まだ起業していない理由（複数回答）



～税務・法律関連の相談制度の充実や技術・スキル向上の機会を求める～

- 起業に失敗したときのリスクの内容として最も多い回答は、女性は「安定した収入を失うこと」(70.9%)、男性は「事業に投下した資金を失うこと」(67.2%)である(図-22)。女性は、「安定した収入を失うこと」のほか、「家族に迷惑をかけること」(61.5%)、「関係者(従業員や取引先など)に迷惑をかけること」(29.9%)を挙げる割合が男性より高い。
- 起業する際にあったらよいと思う支援策は、男女ともに「税務・法律関連の相談制度の充実」(女性51.1%、男性45.7%)が最も多い(図-23)。女性は「技術やスキルなどを向上させる機会の充実」(同38.0%、25.0%)を求める割合が比較的高い。

図-22 失敗したときのリスク(複数回答)

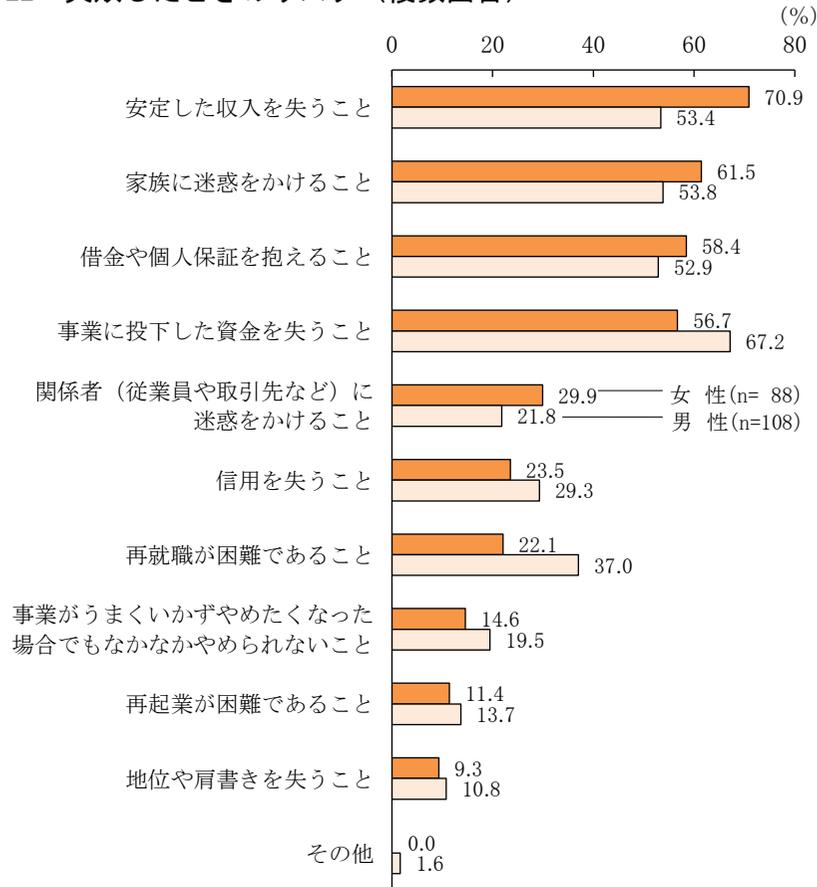
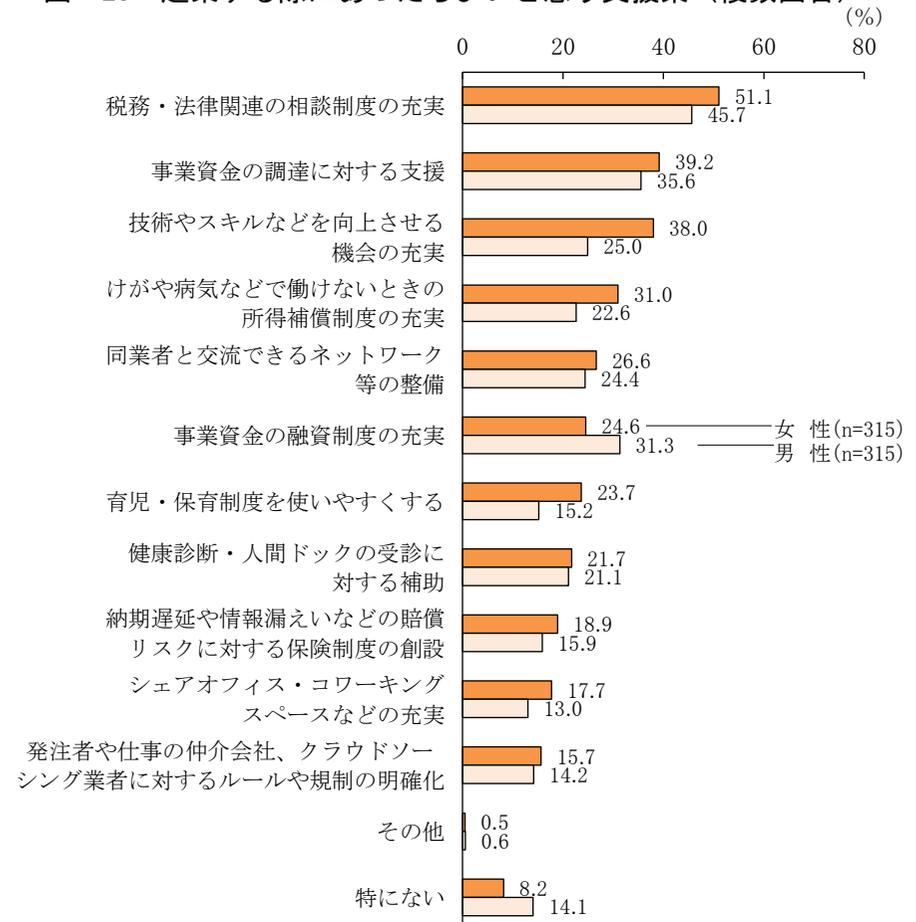


図-23 起業する際にあったらよいと思う支援策(複数回答)



(注) 図-21で「失敗したときのリスクが大きい」と回答した人に尋ねたもの。

4 満足度

～収入の満足度は女性の方が低く、仕事のやりがいの満足度は女性の方が高い～

- 収入に対して「かなり満足」「やや満足」との回答を合わせた割合は、いずれの類型においても男性の方が高い（図-24）。「やや不満」「かなり不満」を合わせた割合は、起業関心層で女性が男性を大きく上回っている。
- 仕事のやりがいに対する満足度は、男女ともに起業家で最も高く、パートタイム起業家がそれに次ぐ（図-25）。女性の起業家は、「かなり満足」の割合が男性を大きく上回る。パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層においても、満足度は女性の方が男性より高い。

図-24 収入に対する満足度

(単位：%)

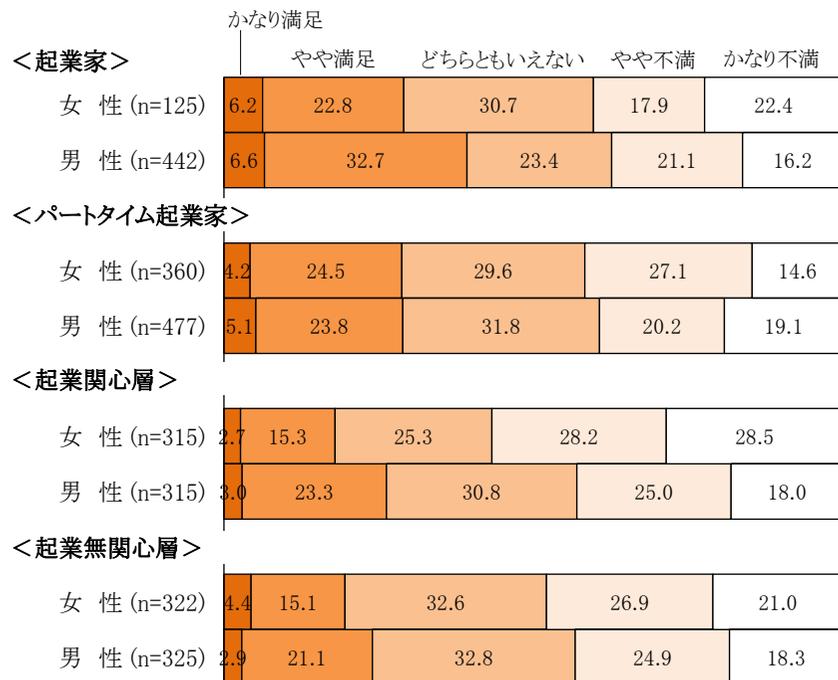
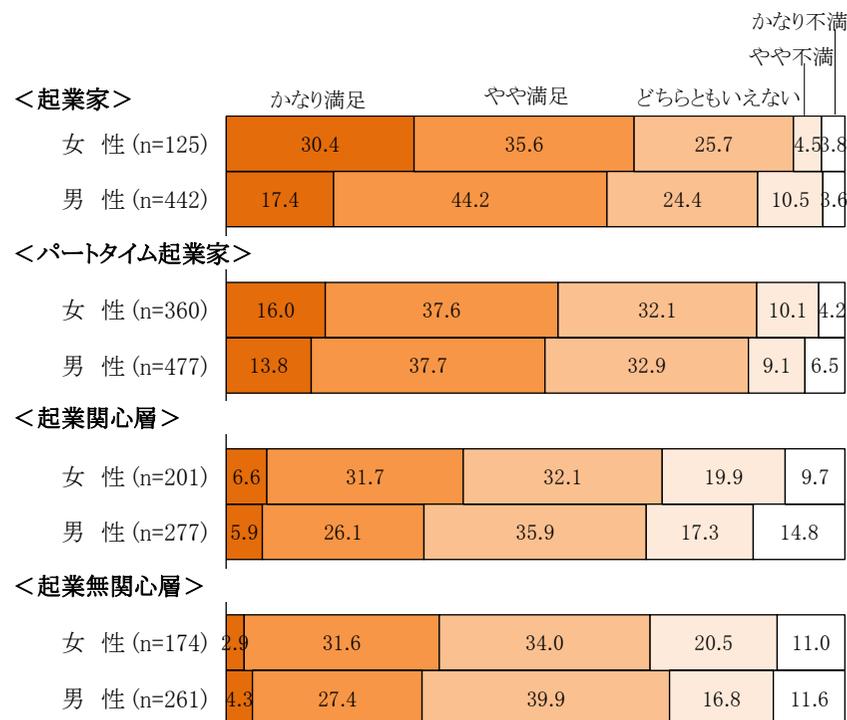


図-25 仕事のやりがいに対する満足度

(単位：%)



(注) 起業関心層と起業無関心層は、図-6で現在の職業が勤務者と答えた人に尋ねた。

～ワークライフバランスに対する満足度は、女性の方がやや高い～

- ワークライフバランスに対する満足度は、いずれの類型においても女性の方が男性より満足している割合がやや高い（図-26）。「かなり満足」「やや満足」している女性は、起業家、パートタイム起業家で特に多い。
- 総合的に「かなり満足」「やや満足」している割合は、男女ともに起業家で最も高く、パートタイム起業家がそれに次ぐ（図-27）。起業関心層、起業無関心層は相対的に満足している割合が低く、女性は「やや不満」「かなり不満」との回答割合が男性に比べてやや高くなっている。

図-26 ワークライフバランスに対する満足度

(単位：%)

	かなり満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	かなり不満
<起業家>					
女性 (n=125)	20.0	40.7	27.6	6.7	5.0
男性 (n=442)	18.2	38.7	27.2	7.9	8.0
<パートタイム起業家>					
女性 (n=360)	18.2	33.6	34.6	9.1	4.4
男性 (n=477)	14.2	35.9	35.6	8.8	5.5
<起業関心層>					
女性 (n=315)	7.8	28.5	32.7	21.2	9.8
男性 (n=315)	8.1	26.6	37.5	14.8	13.0
<起業無関心層>					
女性 (n=322)	11.1	26.1	42.8	12.2	7.8
男性 (n=325)	7.7	26.9	45.2	12.3	8.0

図-27 総合的な満足度

(単位：%)

	かなり満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	かなり不満
<起業家>					
女性 (n=125)	22.0	38.4	27.6	4.7	7.3
男性 (n=442)	14.2	41.9	23.5	14.0	6.4
<パートタイム起業家>					
女性 (n=360)	11.3	37.2	32.9	12.9	5.8
男性 (n=477)	11.3	37.0	34.3	10.6	6.8
<起業関心層>					
女性 (n=315)	4.0	30.2	30.7	25.2	9.9
男性 (n=315)	3.8	30.7	33.9	18.9	12.7
<起業無関心層>					
女性 (n=322)	5.5	27.1	41.2	14.8	11.4
男性 (n=325)	3.4	29.5	42.5	16.3	8.3

Ⅲ まとめ

○ 女性の7割は起業に無関心、そのうち3割以上が主婦（p.2、6）

女性に占める起業無関心層の割合は69.1%と、男性（50.8%）に比べてかなり高い。起業家は0.4%（男性1.2%）、パートタイム起業家は4.4%（同5.6%）、起業関心層は9.9%（同13.7%）であった。

「主婦・主夫」である割合は、女性の起業無関心層は34.3%と男性の0.7%を大幅に上回る（図-6）。同様に、女性の起業関心層（21.7%）も男性（0.5%）を20ポイント以上上回っている。

○ 女性のうち主たる家計維持者である人は、起業家で多く、起業無関心層で少ない（p.4、5）

女性のうち主たる家計維持者である割合は、起業家で45.0%と最も高く、起業無関心層で30.3%と最も低い（図-1）。ただし、いずれの類型においても、男性の割合の半分程度と低い。

家事に「携わっていない」割合は、起業家は男女ともに約6割と同程度だが、その他の類型では女性の方が低い（図-3）。起業関心層の女性は、「携わっていない」割合が41.3%と最も低くなっている。

○ 身近に起業家が「いる」割合は、起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層の順に高い（p.9）

両親・祖父母・兄弟姉妹・配偶者のなかに起業家が「いる」との回答割合は、男女ともに起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層の順に高い（図-11）。特に、女性の起業家は46.1%と男性の起業家（33.7%）と比べてかなり高い。

○ 女性が仕事で最も重視することは、起業家は「仕事のやりがい」、その他の類型は「私生活との両立」（p.10）

仕事をするうえで最も重視することは、男性は4類型いずれも「収入」との回答割合が最も高い（図-14）。一方、女性は、起業家では「仕事のやりがい」（38.3%）が最も高く、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層では「私生活との両立」（順に47.5%、44.9%、50.0%）が最も高くなっている。

○ 女性の起業関心層のうち「10年以内に起業する」予定である人の割合は、男性の半分以下（p.12）

起業関心層に起業予定を尋ねると、「10年以内に起業する」との回答割合は7.0%と、男性の場合（19.6%）の半分以下となった（図-17）。「起業するかどうかはまだわからない」との回答割合が48.9%に上る。

○ 起業に関心をもった理由は「収入を増やしたい」（p.13）

起業に関心をもった理由としては、「収入を増やしたい」が過半数と多い（図-20）。男性と比べると、「時間や気持ちにゆとりが欲しい」「家事と両立できる仕事をしたい」「年齢や性別に関係なく仕事がしたい」などの回答割合が高くなっている。

○ 起業に対して、ビジネスのアイデアや知識に関する不安を挙げる女性が比較的多い（p.14）

起業関心層がまだ起業していない理由として最も多いのは、「自己資金が不足している」である（図-21）。「ビジネスのアイデアが思いつかない」「仕入・流通・宣伝など商品等の供給に関する知識・ノウハウが不足している」との回答が男性に比べて多い。

<参 考> ウェイト値の設定について

詳細調査における起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層の性別・年齢別構成比は、実際の人口構成を反映している事前調査（A群）と比べて偏りが生じている。そこで、詳細調査の集計に当たっては、事前調査（A群）の性別・年齢別構成比に近似させるために、ウェイト値を設定した。その算出方法は次のとおりである。

① 事前調査（A群）の回収数

(単位：人)

	起業家		パートタイム起業家		起業関心層		起業無関心層	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	43	15	180	150	386	254	857	1,124
30歳代	24	9	138	105	301	240	915	1,147
40歳代	27	9	112	104	329	263	1,220	1,558
50歳代	18	4	75	52	231	162	1,076	1,511
60歳代	12	3	59	28	127	63	1,028	1,548

② 詳細調査の回収数

(単位：人)

	起業家		パートタイム起業家		起業関心層		起業無関心層	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	29	26	71	88	31	52	37	57
30歳代	90	41	103	114	53	62	54	34
40歳代	146	36	115	94	92	107	76	55
50歳代	122	21	93	52	84	69	95	89
60歳代	55	1	95	12	55	25	63	87

③ ウェイト (①÷②)

	起業家		パートタイム起業家		起業関心層		起業無関心層	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	1.483	0.577	2.535	1.705	12.452	4.885	23.162	19.719
30歳代	0.267	0.220	1.340	0.921	5.679	3.871	16.944	33.735
40歳代	0.185	0.250	0.974	1.106	3.576	2.458	16.053	28.327
50歳代	0.148	0.190	0.806	1.000	2.750	2.348	11.326	16.978
60歳代	0.218	3.000	0.621	2.333	2.309	2.520	16.317	17.793